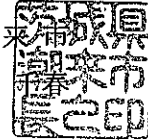




平成 19 年 5 月 9 日

国土交通省道路局長 様

茨城県潮来市
市長 杉田



道路整備の中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

地方の道路においては、いまだ整備が立ち遅れており道路整備を望む声が多数あります。国道なのに歩道がなかったり、慢性的な交通渋滞により目的地までの時間が大幅にかかってしまっている状況があります。

高速自動車道の機能は、道路網のネットワーク化が実現してはじめて発揮されます。活力ある国土の形成や災害時の緊急輸送には重要な役割を持っており根幹的な社会資本であります。

一方で、地方における公共交通機関（鉄道・バス等）は、衰退状況にあり日常での交通手段は自家用車が主要なものでありながら地方の生活道路整備はまだ不十分であります。

また、地方財政は、極めて厳しい状況にあり地域の振興が最重要課題となっています。地域振興にとって道路整備は大きな役割を担っていることを踏まえ中長期的な計画作成では以下の点を重視されますよう要望します。

1. 住民のニーズを踏まえ地域振興に寄与する幹線道路を早期に整備する計画作成を求めます。当市は、国道 51 号潮来バイパスの早期整備を望みます。
2. 高速自動車道路については、ネットワーク化により機能が発揮されることを重要視した計画作成を求めます。当市は、潮来市～鉾田市までの東関東自動車道路水戸線の整備路線への格上げを望みます。
3. 地方では、極力費用をかけずに地域の実情に応じた道路整備を進めています。また、橋梁の耐震化や道路の維持管理も重要な課題です。この予算は道路特定財源に頼らざるを得ないことをご理解いただき道路特定財源の確保を望みます。